

みずほオートリース通信

2025年10月号

薄暮時間帯における交通事故防止について

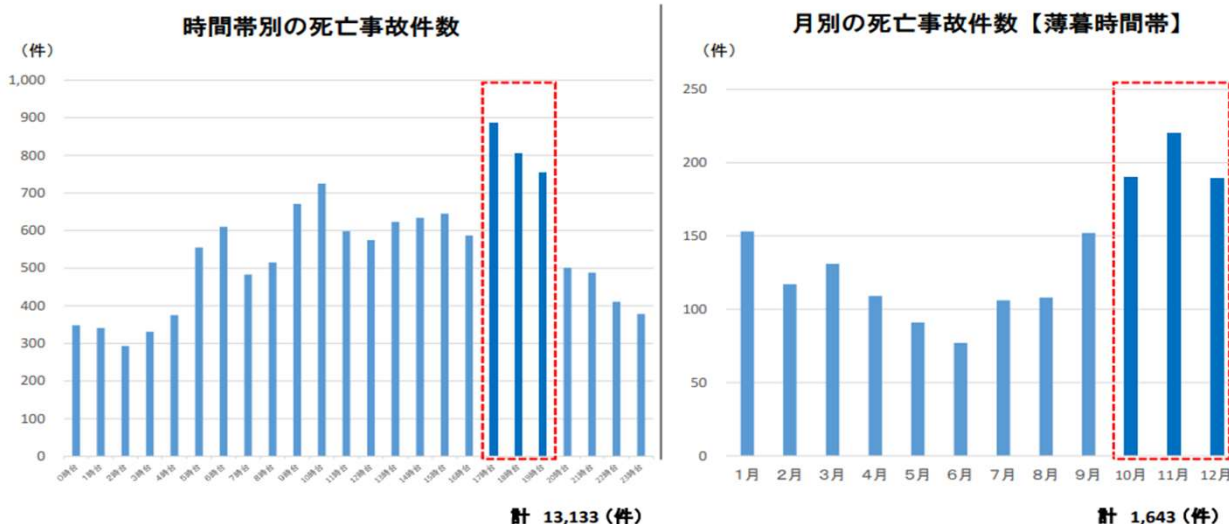
警察庁が令和2年～6年の交通死亡事故発生状況を分析した結果、時間帯別では17時～19時台、月別では10月～12月にかけて最も多く発生していることが明らかになりました。

薄暮時間帯における死亡事故に係る分析

～ 時間帯別・月別の死亡事故件数 ～

- 死亡事故は、一日の中で17時台～19時台において最も多く発生
- 薄暮時間帯における死亡事故を見てみると、7月以降は増加傾向に転じ、特に10月～12月にかけて最も多く発生

図 時間帯別・月別の死亡事故件数(令和2年～令和6年)



(注)・「薄暮時間帯」とは、日の入り時刻の前後1時間をいう(日の入り時刻は、各日の各都道府県の都道府県庁所在地(北海道は各方面本部所在地を含む。))の国立天文台天文情報センター暦計算室の計算による日の入り時刻による。)

薄暮時間帯は前照灯を早めに点灯

『秋の日はつるべ落とし』と言いますが、秋は日が暮れ始めるとあっという間に暗くなることを意味することわざです。運転中に「ちょっと薄暗くなってきたけど、まだライトを点けるまでもないかな」と思った経験はありませんか？2020年4月から販売されている乗用車(新型車のみ)には「オートライト機能*」が義務化されたため、この装備がある車両であれば走行中に「一定の暗さになると、前照灯が自動的に点灯する」ようになりました。ただし、義務化以前に販売された「オートライト機能」がない車両でも車検を通すことができますので、この機能がない車両を運転する時は、薄暮時間帯には意識的に「前照灯の早め点灯」を行い、自分の車両の存在を歩行者など周囲に知らせることが事故防止策として大切です。

* オートライト機能

2023年10月以降は、乗用車の「新型車」だけでなく、旅客自動車や貨物自動車を含め全ての自動車の「継続生産車」もオートライト機能の装備が義務化されています。国が定める「道路運送車両の保安基準」に従い、周囲の照度が1000ルクス未満になると自動的に前照灯が点灯する機能です。詳しくは国交省Webサイトでご確認ください。



一般的にナイター開催時のスタジアムの外野にあたるエリアが約1000ルクス(JIS照度基準に準拠した場合)の明るさだと言われています。

歩行者側の事故防止策

薄暮時間帯の交通死亡事故で最も多く発生しているのは、自動車と歩行者が衝突する事故で、事故類型別では道路横断中の事故が8割を占めています。
歩行者からは自動車の存在を認識できても、自動車運転者からはよく見えず気が付いていない可能性がありますので、明るい目立つ色の衣服や、靴、衣服、カバンなどに反射材を付け、自分の存在を周囲に知らしめることで事故防止に繋がります。
また、薄暮時間帯や夜間は、自動車との距離感や速度が判断しづらくなる傾向がありますので、一層の注意が必要です。

夜間にハイビームを活用していますか？

夜間、街灯が少ない暗い道を走行する時は、前照灯を上向き(ハイビーム)にすることで歩行者や自転車を遠くから発見することができ、事故回避に有効です。

道路交通法に基づき、国家公安委員会が定める交通ルールとマナーの基本をまとめた【交通の方法に関する教則*】には、『前照灯は、交通量の多い市街地などを通行しているときを除き、上向きにして、歩行者などを少しでも早く発見するようにしましょう。ただし、対向車と行違ふときや、ほかの車の直後を通行しているときは、前照灯を減光するか、下向きに切り替えなければなりません。』と記載されています。つまり、夜間の自動車走行では、市街地や対向車との行き違い時などを除き「**ハイビームが原則**」とし、各都道府県警は夜間の交通事故対策として、早めのライト点灯とともに、ハイビームの活用を促しています。
(*「交通の方法に関する教則」についての詳細は警察庁Webサイトをご確認ください)

また近年、「オートハイビーム(ハイビームとロービームの自動切換え)」機能が装備された新車が増えていますので、この機能を上手に活用することで夜間の事故防止に役立つと思われます。尚、この機能は「オートライト機能」とは違い、義務化はされていません。

＜ハイビーム(左)とロービーム(右)の見え方の違い パイロンまでの距離60m＞



画像、出典：警察庁HP「薄暮時間帯における交通事故防止」<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/enzen/hakubo.html>

「ハイビームの上手な活用で夜間の歩行者事故防止」<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/enzen/highbeam.html>

JAF「オートライト機能の搭載がついに義務化へ。何がどうなるかをまとめてみました！」<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/car-learning/safety-light/mandatory>
より一部引用し、当社で作成